



2025年2月3日

各 位

会社名 株式会社 東京 衡 機  
代表者名 代表取締役社長 小塚 英一郎  
(コード番号 7719 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役管理担当 伊集院 功  
(TEL. 050-3529-6502)

株式会社先端力学シミュレーション研究所の株式取得（子会社化）  
ならびに新規事業（デジタル事業）の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、本日付で株式会社先端力学シミュレーション研究所（以下「ASTOM R&D 社」といいます。）と資本業務提携契約を締結し、2025年3月31日付で同社の株式の過半数を取得して子会社化することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、当社は、ASTOM R&D 社の子会社化に伴い同社の営む事業を当社グループの新規事業（「デジタル事業」）として開始することとなりますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 株式取得（子会社化）および新規事業開始の目的

当社と ASTOM R&D 社は、2023年4月21日付「業務提携契約締結に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり業務提携契約を締結しております。その後、両社間で新たな収益機会の創出や事業の開発について定期的に会合を行い、CAE（Computer Aided Engineering）ソフトウェアを組み合わせた試験装置の受注獲得など提携効果の実現に向けて協力関係を築き、両社でデジタルトランスフォーメーションを牽引しデジタルツイン技術を駆使したソリューションを提供する企業としての地位を確立していくことを目指し、2024年3月18日付「株式会社先端力学シミュレーション研究所との資本業務提携に向けた基本合意書の締結に関するお知らせ」にてお知らせのとおり、資本業務提携についての基本合意書を締結し、提携関係の強化について協議を進めてまいりました。この資本業務提携契約の締結および ASTOM R&D 社の株式取得の実行は2024年4月下旬以降に予定しておりましたが、2024年5月24日付で当社株式の特別注意銘柄の指定が継続されたことから当初の予定よりもスケジュールが延び、2024年11月23日付の特別注意銘柄の指定解除を受け、改めて最終的な契約の締結に向け協議を行い、この度の合意に至ったものであります。

当社グループと ASTOM R&D 社は、上記の業務提携契約締結以降、それぞれの強みを活かし、提携によるシナジー効果を発揮すべく、以下のような取組みについて協議を進めてまいりました。その結果、双方の技術のコラボレーションにより試験機事業の顧客から受注を獲得するなど着実な成果が表れております。また、エンジニアリング事業の販促ツールに ASTOM R&D 社のデジタル解析技術を利用するなど当社グループ全体において協力関係の構築が進んでおります。

① 営業部門の連携による顧客への最適な提案

顧客を相互に紹介し、当社グループと ASTOM R&D 社から顧客に対し総合的な提案をすることによって顧客中心のアプローチを強化し、両社の営業部門間のシームレスな連携により、顧客のニーズに応じてカスタマイズしたソリューションを提案します。

② 共同技術開発

ASTOM R&D 社の CAE ソフトウェアが組み込まれた試験機を開発し、試験データの分析と試験プロセスの効率化・精度の向上等の「試験機のデジタル化」や CAE ソフトウェアの使用により仮想環境でのテストと分析を可能にし、試験の前段階での課題発見と試験プロセスの最適化を実現する「デジタルツイン」について共同で技術開発を行います。

③ 試験データのソリューション開発（分析の効率化、改ざん防止等）

試験機データと CAE ソフトウェアの試験データの分析機能をシステムに統合すること等により、リアルタイム解析と迅速なフィードバック、改善提案等の分析の効率化や試験データの改ざん防止等のソリューションを開発します。

④ 当社グループ各社の IT 化、AI 技術導入等による業務効率の向上

当社は、2024 年 2 月 27 日に策定・公表した中期経営計画において、2025 年 2 月期のミッションを「事業拡大のためのプラットフォーム作り」とし、社内デジタル化推進により業務の効率化を進めております。とりわけ、当社グループの試験機事業において課題となっている多種多様な試験機に関する設計技術の伝承とエンジニアの育成、少子化による人手不足に対応した省人化と生産性の向上等について、ASTOM R&D 社の協力を得て、見積・設計情報のデータベース化と AI 技術の活用による業務の一部自動化に向けてプロジェクトを発足し、早期の運用開始を目指しております。

当社としては、最先端のデジタル技術と優秀な研究者・技術者を多く有する ASTOM R&D 社との関係をより強固にすることで、既存事業を変革し新たな地平を切り拓いていくことができると考え、ASTOM R&D 社に上場会社である当社のグループに加わっていくことを打診いたしました。一方、ASTOM R&D 社としては、産業界全般、官公庁、各種研究機関、教育機関など多くのお客様を抱える当社のグループに入ることで、そのポテンシャルをより発揮していくことができると捉えて当社の打診に応じ、この度の資本業務提携契約の締結につながりました。

子会社化する ASTOM R&D 社の行っている事業は、当社グループとしては新規事業となり、今後、セグメントとしては「デジタル事業」として区分いたします。同社の主たる事業としては「CAE ソフトウェア開発・販売」、「CAE 解析・開発サービス」、「AI ソリューション」がありますが、それぞれの具体的な内容は以下のとおりです。

① CAE ソフトウェア開発・販売

ASTOM R&D 社の自社開発ソフトウェアの販売・保守・更新です。主なソフトウェアとしては、プレス成形時に発生する技術課題を事前に予測・解決し、試作コスト削減・開発期間短縮を実現する ASU/P-form（プレス成形シミュレーションソフトウェア）や樹脂射出成形時のトラブルを事前に予測し成型設計の低コスト化と成形の効率化を実現する ASU/MOLD（樹脂射出成型シミュレーションソフトウェア）、アーク溶接工程の最適化を行いリードタイムの短縮を実現する ASU/WELD（溶接ひずみシミュレーションソフトウェア）、アセンブリ製品、熱依存非線形材料、大規模並列計算も扱える本格的な構造解析を低コストで実現する ASU/ISTR（汎用構造解析シミュレーションソフトウェア）、汎用 CAE で困難な 3 つの非線形現象（材料/幾何/接触）を含む問題も安定して計算する ASU/V-Struct（伝熱・構造連成解析シミュレーションソフトウェア）などがあります。

② CAE 解析・開発サービス

ASTOM R&D 社が受託を受けて実施する CAE 技術を用いた解析・開発サービスや解析等に関するコンサルティングサービスです。受託解析の主な分野としては、構造解析や流体解析、マルチフィジックス解析、生産技術 CAE、半導体性能解析、原子力安全解析等があります。また、コンサルティングサービスとしては、COMSOL Multiphysics を用いた受託解析、モデル開発、導入コンサルティングなどマルチフィジックス解析に関する総合的なサービスや OpenFOAM を用いた受託解析やソルバのカスタマイズ、専用プリポスト ASU/Pre-FOAM と組み合わせた専用 CAE 環境の構築など OpenFOAM 導入に関する総合的なサービス、CAE を活用した電子部品と電子基板の解析サービスにより実装基板と電子部品の高信頼性確保・開発期間短縮・コスト削減を支援する電子部品・電子基板解析サービス、熱設計・信頼性設計解析・接合工程解析を支援するパワーモジュール熱・信頼性設計 CAE 解析サービス、スーパーコンピューターなどの HPC（High Performance Computing）インフラを活用した受託サービス、X 線 CT およびリバースエンジニアリング

技術を活用した現物評価解析サービス等があります。

③ AI ソリューション

シミュレーションを加速する CAE 代理ソリューションと「ものづくり」と AI を融合するソフトウェアで、データに新たな付加価値をもたらすものです。CAE 代理ソリューションは、機械学習を用いて物理シミュレーションを代替する代理モデルを構築するサービスで、深層学習を用いた超高速計算によりシミュレーションを加速するものです。また、ASU/AI Platform は、「ものづくり」現場で生み出される画像データ、数値データ、CAD データなどの多種大量のデータを「収集・加工・学習・運用」し、AI による的確な不良判定、状態予測で問題の事前解決、技術・技能の継承と人材育成、工数削減と納期短縮等を可能にするものです。

ASTOM R&D 社は、「最新の情報技術を糧とし、ものづくり分野をはじめとする社会基盤技術に革新をおこすことで真に豊かな社会の構築に貢献します」という経営理念を掲げ、あらゆる課題の発掘から解決までをお客様と一緒に進め、ソフトウェアの提供にとどまらない専門技術によりお客様を課題解決へと導いています。今後は、当社グループの既存事業である「試験機事業」と「エンジニアリング事業」とあわせて、「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」所存であります。

2. 異動する子会社（ASTOM R&D 社）の概要

(1) 名称	株式会社先端力学シミュレーション研究所 Advanced Simulation Technology Of Mechanics R&D Co., Ltd. (略称：ASTOM R&D 社)	
(2) 所在地	東京都文京区小石川五丁目 5 番 5 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 常木優克 代表取締役社長 池田 貴	
(4) 事業内容	CAE ソフトウェアの開発および受託解析、受託開発等	
(5) 資本金	9,984 万円	
(6) 設立年月日	1999 年 4 月 2 日（理研ベンチャー制度により設立）	
(7) 大株主及び持株比率	ASTOM R&D 社の役職員 22 名 合計 1,485 株（59.49%） ASTOM R&D 社の元役職員等 6 名 合計 327 株（13.10%） ㈱トライアルパーク 100 株（4.01%） 池上金型工業㈱ 100 株（4.01%） ※ 発行済株式総数は 2,496 株で、上記のほか自己株式が 484 株（19.39%）あります。	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社子会社の㈱東京衡機試験機と当該会社との間で、試験機に組み合わせる CAE 解析装置の開発の委託や見積・設計業務のデータベース化と AI を活用した自動化に関する開発の委託等の取引があり、子会社の㈱東京衡機エンジニアリングとの間では、ゆるみ止めナットの販促ツールとして活用するゆるみ止め技術の力学メカニズムの調査・検証・解析・説明資料作成の業務委託があります。
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態		

決算期	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期
売上高	703百万円	762百万円	688百万円
営業利益	113百万円	101百万円	34百万円
経常利益	113百万円	98百万円	30百万円
当期純利益	58百万円	45百万円	23百万円
1株当たり当期純利益	28,935円46銭	22,627円29銭	11,757円03銭
1株当たり配当金	5,000円	2,500円	－円
純資産	319百万円	266百万円	220百万円
総資産	588百万円	648百万円	616百万円
1株当たり純資産	158,773円77銭	132,338円30銭	109,711円01銭

### 3. 株式取得の相手先の概要

株式取得の相手先は以下のとおりです。なお、取得株式の総数は1,249株（50.04%）を下回ることはありませんが、相手先となるASTOM R&D社の役職員および元役職員等の人数および取得株式数は予定であり、若干変更される可能性がございます。

(1) 氏名	ASTOM R&D社の役職員22名（予定）
(2) 住所	株主の意向により非開示とさせていただきます。
(3) 上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）の間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

※ ASTOM R&D社の役職員からの取得予定株式数は722株（28.92%）となります。

(1) 氏名	ASTOM R&D社の元役職員等6名（予定）
(2) 住所	株主の意向により非開示とさせていただきます。
(3) 上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）の間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

※ ASTOM R&D社の元役職員等からの取得予定株式数は327株（13.10%）となります。

(1) 名称	㈱トリアルパーク	
(2) 所在地	東京都千代田区五番町5-5	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 鈴木 正敏、代表取締役社長 須長 秀行	
(4) 事業内容	受託解析事業、技術者教育事業、ソフトウェア開発・販売事業等	
(5) 資本金	2,000万円	
(6) 設立年月日	2007年1月16日（理研ベンチャー第19号として設立）	
(7) 純資産	29百万円（2023年3月31日現在）	
(8) 総資産	77百万円（2023年3月31日現在）	
(9) 大株主及び持株比率	須長 秀行（52.5%）、鈴木 正敏（12.5%）	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。

	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

(1)	名称	池上金型工業(株)
(2)	所在地	埼玉県加須市豊野台 2-664-8
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 池上 正信
(4)	事業内容	プラスチック射出成形用金型設計・製作、ニッケル電鍍製品製作、金型標準部品・特注部品並びに機材の製造販売、精密特殊加工
(5)	資本金	1億円
(6)	設立年月日	1945年5月
(7)	純資産	2,563百万円(2024年4月30日現在)
(8)	総資産	4,432百万円(2024年4月30日現在)
(9)	大株主及び持株比率	池上正信(18.37%)、(株)JNTコーポレーション(11.40%)
(10)	上場会社と当該会社の関係	
	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	一株 (議決権の数：一個) (所有割合：一%)
(2)	取得株式数	1,249株 (議決権の数：1,249個) (発行済株式数に対する割合：50.04%) (取得価額：340百万円)
(3)	取得価額	ASTOM R&D社の普通株式 340百万円 取得関連費用等(概算額) 20百万円 合計(概算額) 360百万円
(4)	異動後の所有株式数	1,249株 (議決権の数：1,249個) (所有割合：50.04%)

※ ASTOM R&D社の株式取得にあたっては金融機関から必要な資金の借入を行う予定です。借入総額、借入実行日等の詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

## 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年2月3日
(2) 資本業務提携契約書締結日	2025年2月3日
(3) 株式譲渡契約書締結日	2025年2月4日～3月28日(予定) (上記期間中に複数の株主と契約書を締結する予定です。)
(4) 株式譲渡実行日	2025年3月31日(予定)

※ 株式譲渡実行日に、ASTOM R&D社は当社の子会社となり、同日に同社の臨時株主総会を開催して当社の指名する取締役会の過半数となる取締役5名および監査役1名の選任を決議する予定です。子会社化後の同社の体制につきましては、改めてお知らせいたします。

## 6. 今後の見通し

本件株式取得による当社の2025年2月期の連結業績に与える影響につきましては、現時点においては軽微であると見込んでおりますが、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。また、2026年2月期の連結業績に与える影響につきましては、2024年2月27日に公表した2025年2月期から2027年2月期までの3ヵ年を対象とする中期経営計画の見直しとあわせて、今後精査のうえ、見通しが固まり次第公表する予定であります。

以上